

Vol.

1

平成11年5月



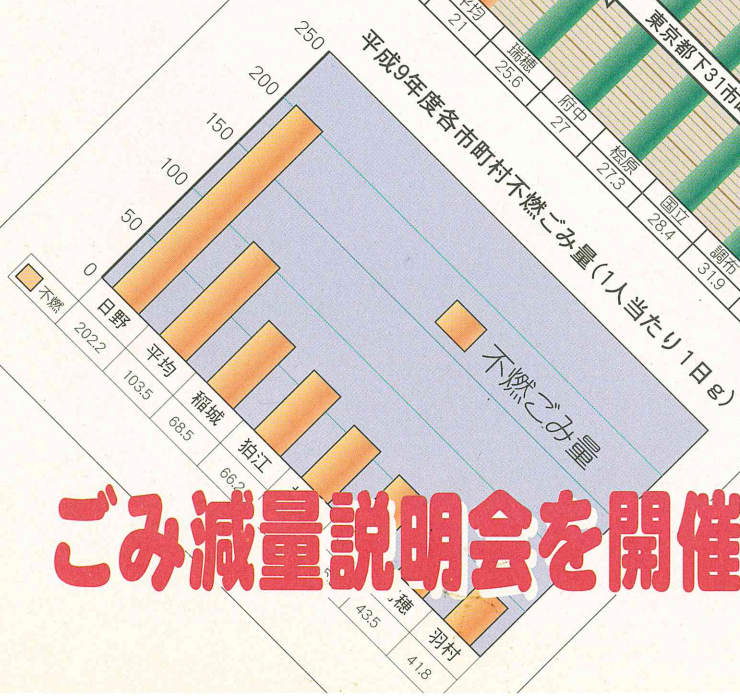
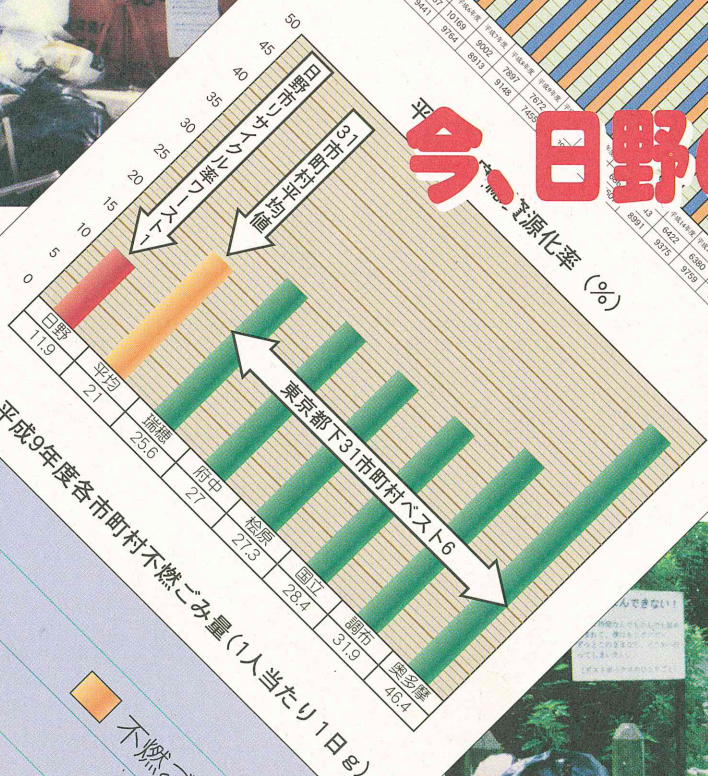
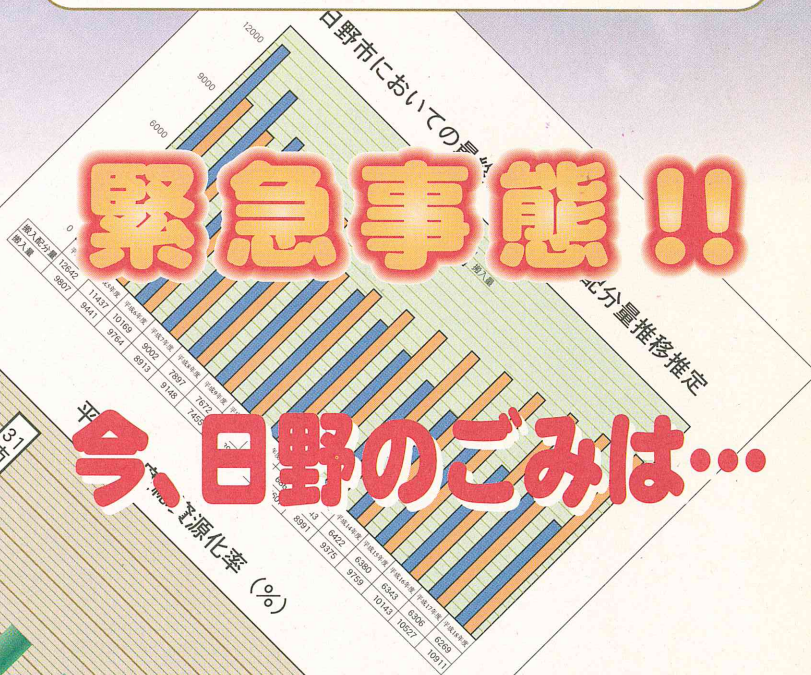
発行：日野市環境共生部リサイクル推進課

☎581-0444



緊急事態！！

今、日野のごみは…



ごみ減量説明会を開催

税金が無駄に

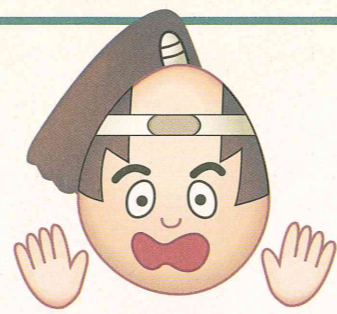
日野市のごみの行方

可燃ごみは焼却して灰に、不燃ごみは細かく砕いて、いずれも日の出町にある三多摩地域の27市町で構成している処分組合の最終処分場に埋め立てています。

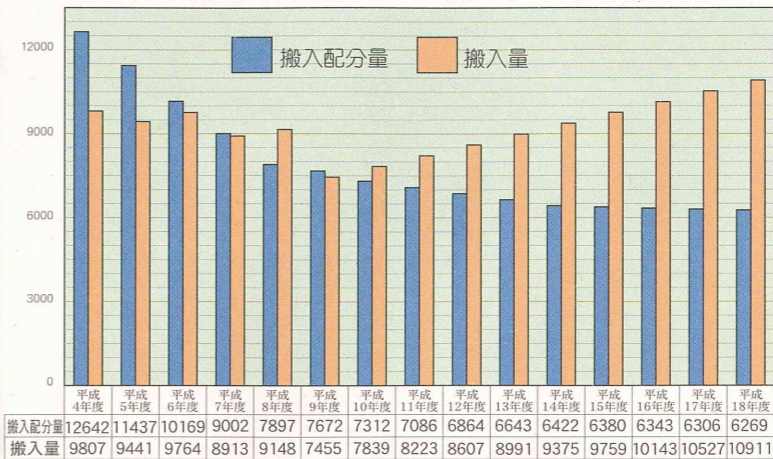
税金が追徴金に！

日野市のごみは非常に多く、平成10年度は配分量(埋め立てて良い量をオーバー)してしまいました。超過してしまった分は追徴金として、皆さんの大切な税金から支払われることになりました。このままの状態が続くと、数年後には億単位の追徴金が必要になってしまいます。

これじゃあ大変だ～！



日野市における最終処分場搬入・配分量推移推定



ごみ減量とリサイクルに向かって

「ごみの出し方が変わります」

ダストボックスは廃止

ごみそのものの量を減らし、資源の分別を徹底することで埋め立て量を大幅に減らすためにダストボックスを撤去し、ごみの収集方法を変更します。その期日については平成12年10月を予定しています。



ダストボックスの問題点

- いつでも捨てただけ捨てられる
- リサイクルできる資源が多く混ざっている
- 違反者が誰だかわからない
- 他市からごみを捨てに来ている
- 事業者の責任で処理すべきごみが多く捨てられている
- 交通事故・人身事故の原因になる
- 維持費がかかる
- 夜間のふたの開け閉めや夏場の悪臭で周辺住民に苦痛を与える

新しい収集方法

ダストボックス廃止後の収集方法は次のような方法があります。

- 1 戸別収集方式
- 2 ステーション収集方式
- 3 戸別・ステーション併用方式

ごみ減量とリサイクルの推進については市民が主役です。今このことを一人ひとりがしっかりと認識しなければなりません。

そのためには資源が分別しやすく、出す人の責任を明らかにすることのできる戸別収集が最もすぐれていると考えられます。

排出する袋も市が指定する半透明のもので、中身が見えるような形にしたいと考えています。

また、この袋を有料にするなどについては現在、審議会で審議をさせていただいておりますので、この夏には市としての結論を出す予定になっていきます。新収集方法が決定次第、パンフレットや広報、説明会などでお知らせしていきます。



まずはごみを発生させないこと

リサイクル率
不燃ごみ量

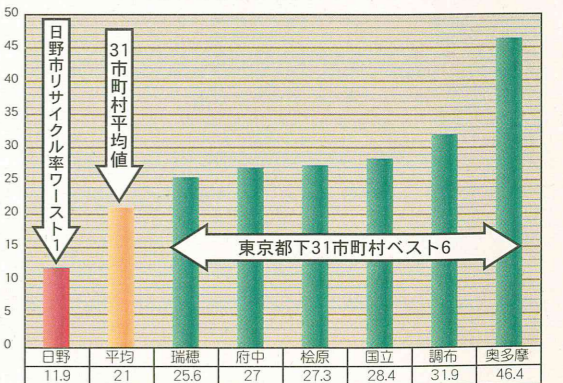
多摩地域

ワースト1！

リサイクル率ワースト1

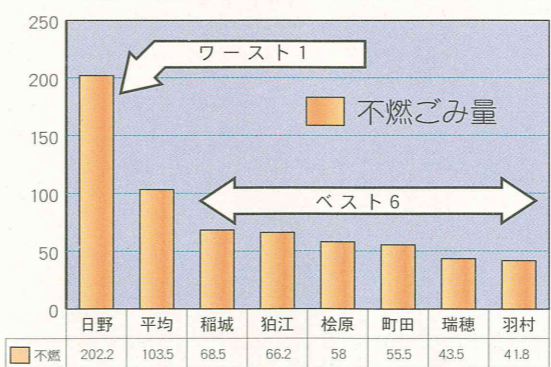
日野市のリサイクル率(総ごみ量のうち、リサイクルできる資源が占める割合のこと)は平成9年度11.9%で、多摩地域の平均21.0%を大きく下回り、ワースト1の不名誉な位置にあります。この原因は資源の分別が不十分なことに尽きます。一番の原因はダストボックスにあると考えられます。ダストボックスには多くの問題点があり、すでに平成9年2月に廃棄物減量等推進審議会でもダストボックス廃止の答申も受けています。

平成9年度総資源化率(%)

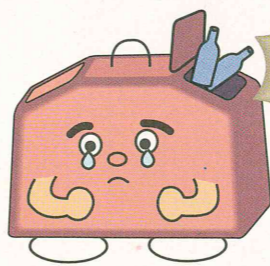


不燃ごみ量もワースト1
日野市で一人が一日に出す不燃ごみの量も202.2gで、多摩地域の平均103.5gと比べると非常に高く、ワースト1の位置にあります。このことから分別が徹底しておらずダストボックスの中に入れてしまっている資源の量が多いことがわかります。ちなみに、可燃ごみの量はワースト4です。

平成9年度各市町村不燃ごみ量(1人当たり1日g)



こんなはずじゃ...



第二に徹底分別！

ボックスの中には資源がいっぱい

資源物は資源物回収ステーションへ！

- 回収品目 9品目
 - ①新聞紙 ②雑誌 ③段ボール
 - ④牛乳パック ⑤古布 ⑥びん
 - ⑦ペットボトル ⑧かん ⑨発泡トレイ
- 回収日 月2回
浅川から北側...第1・3金曜日
浅川から南側...第2・4金曜日
- 回収場所 420ヶ所
場所がわからない時はリサイクル推進課へ

買う前に考えよう
本当に必要かどうか

買い物袋は持参
過剰包装は断る

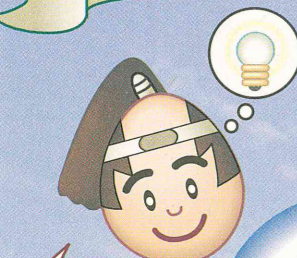
買いすぎない
作りすぎない
腐らせない

必要のないものは
必要としている人に

生ごみは水気を切る
(ひとしぼり)
堆肥化も有効!

「もったいない」を大切に!

ごみ減量ここがポイント



始めましょう！ごみダイエット！

1人1日100gのごみダイエット

年間2,400tのごみ減量になります

即実践を！

事業者の皆さんへ

ふむふむ。
 商売や事務所で出た
 ごみを事業系ごみって
 言うんだね。



ダストボックスの廃止に伴い少量の事業系ごみの出し方も変わります

現在ダストボックスに排出している小規模の商店や事務所のごみは、ダストボックス廃止に伴い事業所用の指定収集袋で戸別に排出していただく方向で検討しています。袋の大きさ、料金等詳しいことについては決まり次第パンフレット・説明会などでお知らせします。

事業系ごみとは？

⇒ 商店や会社などの全ての事業活動から排出されるごみのことで、家庭ごみとは区別されます。なお事業活動とは、営利を目的としたものだけでなく、教育・社会福祉事業などの公共事業や公共サービスなどの活動も含まれます。

事業系ごみの処理

⇒ **事業系ごみは、自己処理が原則です。**
 市から許可を受けている収集運搬業者に処理を委託するか、自己搬入をお願いします。(ただし、クリーンセンターで処理できるものに関し、家庭ごみの処理に支障の出ない範囲で受け入れます。) ※産業廃棄物は処理できません

再生品の積極利用

取り扱う商品や使用する事務用品に、再生品を積極的に取り入れましょう。

心がけましょう！

ごみも流通ルートにのせる

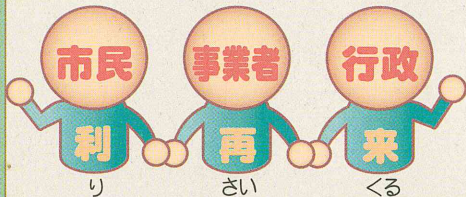
商品の仕入れ先に不要な物は引き取ってもらいましょう。

生ごみリサイクルの確立

生ごみを取り扱う事業者は、生ごみ処理機の導入などで排出を抑制しましょう。

みんなで協力

市民・事業者・行政が一体となってリサイクルを進めましょう



市民の皆さん、事業者の皆さんを対象にごみ減量説明会を開催します

ご参加
 ください

	日 時	会 場	
1	5月24日(月)PM6:30~8:30	第四中学校食堂	※七生公会堂以外はスリッパをご持参ください。 ※お車でのご来場はご遠慮ください。
2	5月29日(土)PM6:30~8:30	七生公会堂	
3	6月 1日(火)PM6:30~8:30	第四小学校体育館	
4	6月 4日(金)PM6:30~8:30	平山中学校食堂	この「エコー」Vol.1をお持ちください。
5	6月 6日(日)AM10:00~12:00	大坂上中学校食堂	

この情報誌「エコー」は、環境(Environent)と協力する(Cooperate)の頭文字が皆さんのもとへ響き、それが大きな反響となって広がって行くことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減って行き、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。

皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。